

プログラムの目標観

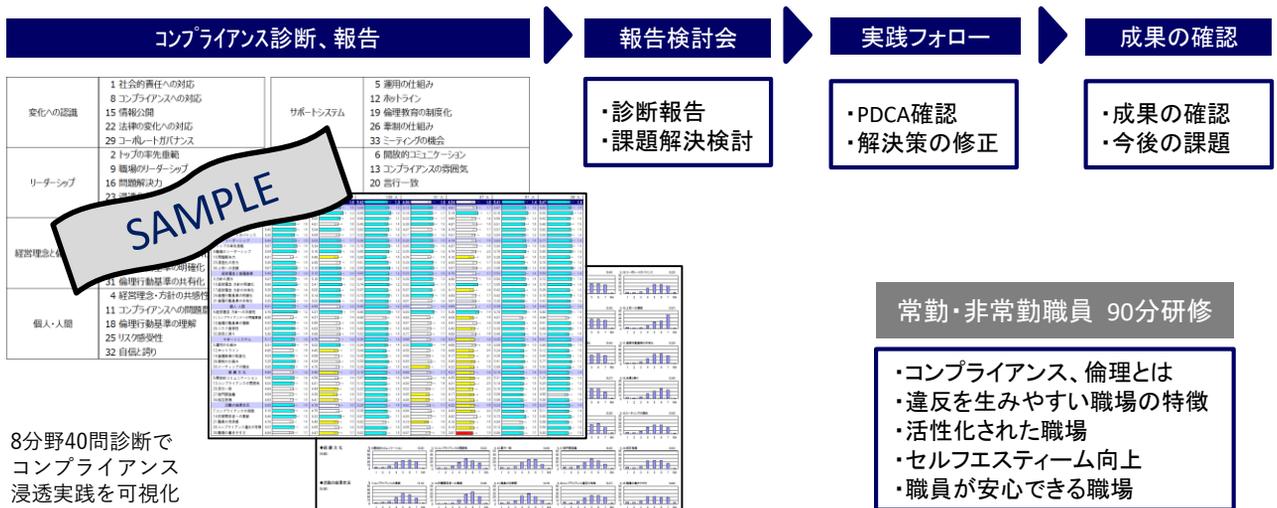
- 1 職員のコンプライアンスに対する現状を可視化することで解決が必要な課題を明らかにする
- 2 解決策を実行するPDCAを実際に回すことで課題の改善、コンプライアンス対策に繋げる
- 3 活性化された職場づくりを進めることで職員が法人の理念を体現しやすい環境に繋げる

プログラムのポイント

近年、虐待、置き去り、閉じ込め、パワハラなど社会福祉法人の不幸事に関するニュースを目にします。起きてから対応するのではなく、起きる前に対策をする必要があるのは自明の理です。しかし、管理者が施設状況を把握しきれない、職員同士がものを言える雰囲気でない、法人の理念・方針を浸透できていない、など課題があります。効果的な解決のためには、まず現状を可視化・把握し、法人全体、職場ごとの対策を実践して改善に繋がっていきます。

※下記プログラムは一例です。

貴法人組織の課題状況に合わせて、プログラム実施回数及び学習テーマなどをご提案させていただきます。



期待される効果

- 1 診断にて職員全員の巻き込みを図ることで組織内で施策の導入をスムーズにします。
- 2 伴走型でPDCAサイクルを回す支援をすることで、PDCAサイクルの定着化に寄与します。
- 3 理念の浸透化・職場の活性化は職員の判断基準・行動指針の明確化、求める行動の促進に繋がり組織への愛着も高まります。ひいては求めていない行動の抑制に繋がります。